

女性ファッション誌 **Analysis**

by Inoue Seminar at HCU

by 広島市立大学国際学部 井上ゼミ

2007年6月某日一。ひとりのゼミ生のさりげない一言から、この研究は始まった。
“おしゃれ”に興味を持ち、初めてファッション雑誌を買ったあの日。
少し背伸びして買ったファッション雑誌。
初めてファッションを気にするようになったのはいつ？
初めて化粧をしたのはいつ？

あなたの原点が、ここにある…！！！！？？？

かも (笑)

女性ファッション誌 Analysis

by Inoue Seminar at HCU

Contents

- I. 女性ファッション誌用語・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
ファッション誌の世界に入る前に、まずは用語のおさらいから
盛り、プリブラ、もえカジ…あなたはどれだけ流行についていけていますか？
NIKITA 読者なら当然知ってるあの用語も、今日は特別にお見せします！

- II. 系統分類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
一目瞭然！！
あなたのファッションは何系？
カジュアル系からモード系まで、女性ファッション誌すべてを徹底解剖

- III. 分類リスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
ファッション誌って、こんなにある！
全83冊、あなたは何冊わかるかな？

- IV. 広告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
あなたのファッション誌には、どんな広告が？
普段気にも留めない広告をじっくり見てみましょう
そこにはきっと、新たな発見が？！

- V. 表紙分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
ファッション誌の顔、それは表紙！
いま話題のあの人が、表紙を飾るのには理由がある
表紙ひとつで、ファッション誌が見えてくる？！

- VI. ファッション誌研究、今後・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
私たちのファッション誌研究は、こんなもんじゃ終わらない！！
世の中の女性ファッション誌の数は、今増え続けている
なぜ増えるのか？
女性にとってのファッション誌とは、一体何なのか？
知りたい！！その気持ちがある限り、この研究は終わらない…

I 女性ファッション誌用語

「ピッカリータ」って？

◆ 小悪魔 ageha

◆ age嬢

巻き髪、盛りヘアとデカ目に特徴のあるキャバクラ嬢風的なファッションをしたギャル。
age嬢は究極のモテ系とされる。

◆ 盛り

トップにボリュームを持たせる為に、
髪を逆立てたりワックスを駆使して上に持ち上げる。

(実践編)

「今日盛ってみただけど、どう？」

「超盛り盛りじゃん！」(←最高の褒め言葉)

◆ CanCam

◆ めちゃ♥モテ

ファッション誌CanCamが生み出したキャッチコピー。
街の女性達のキーワード！！

◆ エビ売れ

専属モデルの蛭原友里が着用した服が瞬く間に完売する現象。

◆ プリプラ

プリティプライスの略。安さを示す言葉。

◆ Hana*chu

◆ スクバ

スクールバッグの略。

◆ もえカジ

もえカジュアルの略 (Hana*chu 専属モデル三浦萌流カジュアル)。

もえカジの3条件

- ① 安くてイケてる ② いつもどっかハデ ③ ミニでギャルさを入れる

◆ NIKITA～NIKITA おもしろ用語～

艶女 (アデージョ)

時計美女 (トケータ)

野獣美女 (アニマリータ)

眼鏡美女 (メガネータ)

艶男 (アデオス)

艶度 (アデード)

発光美女 (ピッカリータ)

洒落度 (シャレード)

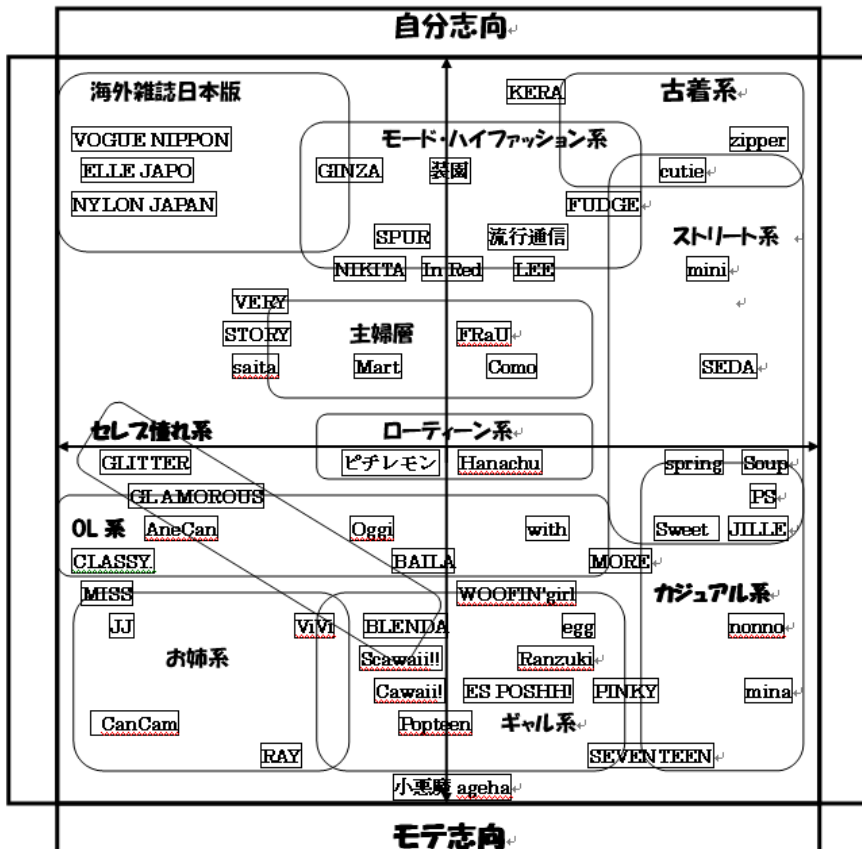
柄美女 (ガラージュ)

艶夜 (アデーヤ)

II ファッション誌 系統分類

ここではファッション誌全 83 冊を系統別に分けた。

下の図は、「自分志向」の雑誌と「モテ志向」にあるもの、「エレガント系」の雑誌と「ナチュラル傾向」にあるものをそれぞれ対極化させ、各誌のもつ特徴を相関図に表した。



系統分類	分類の定義	雑誌名
ローティーン向け	小・中学生向け。	ビチレモン(7月号) ラブベリー(7月号) nicola(7月号) Hana * chu(7月号)
ティーンズ一般	中・高校生向け。	SEVENTEEN(14号)
古着系	独特な着こなし。 派手な髪色が多い。	CUTIE(7月号) Zipper(8月号)
ストリート・裏原宿系	10代・20代に人気。美容師やファッションの専門学生に多いスタイル。 裏原宿に多いストリートカジュアル系ブランドが主流。 ゆったりとした服装。重ね着が基本。 トップスやスカートの下にジーンズやパンツをはくスタイルが多い。	PS(7月号) JILLE(7月号) min(7月号) SEDA(7月号) nadesico(5号)
ロリータ・ゴスロリ系	白や黒、ピンクを基調として、レースやフリルの多い服装。	KERA(7月号)
カジュアル系	ある程度リーズナブルで、一般女性が好む服装。 ちょっと女のらしい清潔感のあるテイストを好むのが共通点。 人口が多い層で、男性ウケはまずまず。	Sweet(7月号) non-no(6月20日号) min(6月20日号) PINKY(8月号) Soup(8月号) spring(8月号)
ギャル系	渋谷系。 髪は茶髪や金髪。肌は黒くて、全体的に派手。 ギャルの指向性は大きく2つに分かれる。 将来を見据えた価値観を持つ「普通であること」を外さない白ギャル。 コギャルの末裔の黒ギャル。 補足: 肌は黒いのはLAファッションにルーツがあるから。 LAだからサーフ系が中心で、肌が小麦色&肌を露出する健康的で開放的	egg(7月号) PopTeen(7月号) Cawaii!(7月号) S Cawaii!(7月号) BLENDA(7月号) ES POSHH!(8月号) Ranzuki(8月号) JELLY(8月号) GISEL(8月号) Happie nuts(8月号) GLITTER(7月号) GLAMOROUS(7月号) WOOFIN girl(7月号) 小黒魔(7月号) CanCam(8月号) VIVI(8月号) J/J(8月号) Ray(8月号) AneCan(7月号) Oggi(8月号) iUC(8月号) Style(8月号) steady(7月号)
セレブ憧れ系	ギャル系と似たファッション。 多くの海外セレブがモデル。	MORE(8月号)
HIPHOP系	B系ファッション。体のラインを強調するピッタリ服で、露出高め。	with(8月号)
お嬢系	キャバ嬢系。髪は盛って、巻き巻き。カラコンなども使用。	BOAO(7月号)
お姉系	代表的なのはエビちゃん。 髪はゆる巻き。モテ意識が全てを中心。 10代後半～20代後半。	MISS(8月号) GLASSY(8月号)
一般OL(お姉)系	お姉系よりも落ち着いた。 コンサバ意識が強い。 20代～30代前半。	2Gane(8月号) ミセス(7月号) 菫苑(8月号) 流行通信(7月号) CINZA(7月号) SPUR(8月号) FUDGE(7月号) VERY(7月号) LEE(7月号) Doman(7月号) BAILA(7月号) NIKITA(8月号) Winstans(7月号) saita(7月号) InRed(7月号)
一般OL(カジュアル)系	お姉系OLよりも通勤向け傾向。 他のOL系に比べてモテ意識が比較的少ない。	Precious(7月号) GRACE(7月号) STORY(7月号) Grazia(7月号) mariso(7月号)
お嬢さんOL系	品行方正な「良家のお嬢さん」「働く今時のお嬢さん」。 20代後半～。	FRaU(7月号) Come(7月号) Mart(8月号)
ゴージャス系	ワンランク上のエレガントスタイル。	ELLE JAPON(8月号) marie claire(8月号) Harper's BAZAAR(8月号) NYLON JAPAN(8月号) VOGUE NIPPON(8月号)
ハイファッション・モード系	白や黒、モトーンなどで決めた各自のこだわりが強い服装。 男性に合わせるという気はあまりなく、ほぼ自己満足のため。 雑誌に登場するのはハイブランドばかりで、その内の1つだけを取り入れたり、似たような服を探してきたり、と上手く自分の身の丈に合った取り入れ方。	02 magazine(6月26日号) an'an(No1564) Chou Chou ar(7月号) bea's UP(7月号) VoCE(8月号) MAQUIA(8月号) 美的(8月号)
30代向け	ターゲット年齢が主に30代の雑誌。	
40代向け	ターゲット年齢が主に40代の雑誌。	
主婦向け	30代～広範囲にわたる読者向け。 料理や生活情報なども充実。	
海外雑誌の日本版	海外で出版されている雑誌を日本版にした雑誌。	
女性誌	ファッション、メイク、恋愛、芸能など 女性に関する多くの情報を扱う。	
ヘアメイク雑誌	服装中心と言うよりもメイクやヘアアレンジを紹介する雑誌。	

83誌 完全リスト

	書名	読み方	出版社	発売日	発行部	価格
1	ar	アール	主婦と生活社	12日	128,267	480円
2	AneCan	アネキャン	小学館	7日		620円
3	an・an	アンアン	マガジンハウス	金曜日	280,673	350円
4	InRed	インレッド	宝島社	7日		880円
5	25ans	ヴァンサンカン	アセット婦人画報社	28日	87,108	780円
6	Vingtaine	ヴァンテーヌ	アセット婦人画報社	23日	89,842	680円
7	ViVi	ヴィヴィ	講談社	23日	453,750	630円
8	with	ヴィズ	講談社	28日	590,000	560円
9	WOOFIN' girl	ウーフィンガール	シンコミュニケーション	6日	160,000	550円
10	VERY	ヴェリィ	光文社	7日	238,900	650円
11	VOGUE NIPON	ヴォーグニッポン	日経エンタナスト	28日		680円
12	VoCE	ヴォーチェ	講談社	23日	112,250	550円
13	SCawaii!	エスカワイイ	主婦の友社	7日	213,184	560円
14	ES POSHH!	エスポッシュ	リイド社	16日	100,000	560円
15	egg	エッグ	大洋図書	1日		490円
16	ELLE JAPON	エルジャポン	アセット婦人画報社	28日	100,359	490円
17	OZ magazine	オズマガジン	スターツ社	隔月曜		400円
18	Oggi	オッジ	小学館	28日	233,333	380円
19	Cawaii!	カワイイ	主婦の友社	1日	156,137	650円
20	CanCam	キャンキャン	小学館	23日	715,417	550円
21	CUTiE	キューティ	宝島社	12日		620円
22	GINZA	ギンザ	マガジンハウス	12日	98,467	400円
23	KERA	ケラ	バウハウス	16日		650円
24	Grazia	グラツィア	講談社	1日	80,083	780円
25	CLASSY.	クラッシー	光文社	28日	215,517	680円
26	GRACE	グレース	世界文化社	7日		680円
27	GLITTER	グリッター	トランスメディア	7日		620円
28	GLAMOROUS	グラマラス	講談社	7日	131,834	730円
29	小悪魔 ageha	コアクマアゲハ	インフォレスト	1日		490円
30	Como	コモ	主婦の友社	1日	111,692	520円
31	saita	サイタ	セブン&アイ出版	7日		620円
32	JJ	ジェイジェイ	光文社	23日	364,483	420円
33	JELLY	ジェリー	ぶんか社	17日		620円
34	GISELe	ジゼル	主婦の友社	28日	97,482	490円
35	Zipper	ジッパー	詳伝社	23日	221,725	680円
36	Chou Chou	シュシュ	角川書店	隔月曜		450円
37	SPUR	シュプール	集英社	23日	119,583	330円
38	JILLE	ジル	双葉者	12日	136,017	650円
39	Sweet	スウィート	宝島社	12日		450円
40	Soup.	スープ	インデックス・コミ	23日		650円
41	Style	スタイル	講談社	28日	86,750	450円
42	steady.	ステディー	宝島社	7日		650円
43	STORY	ストーリー	光文社	1日	207,467	580円
44	spring	スプリング	宝島社	23日		780円

45	SEDA	セダ	日之出出版	7日	183,242	550円
46	SEVENTEEN	セブンティーン	集英社	1,15日	360,476	420円
47	装苑	ソウエン	文化出版社	28日	78,334	480円
48	Domain	ドマーニ	小学館	1日	150,417	560円
49	NYLON JAPAN	ナイロンジャパン	トランスメディア	28日		700円
50	nadesico	ナデシコ	インフォレスト	7日		580円
51	NIKITA	ニキータ	主婦と生活社	1日	46,892	450円
52	nicola	ニコラ	新潮社	1日	168,071	780円
53	non-no	ノン・ノ	集英社	5,20日	440,870	420円
54	BAILA	バイラ	集英社	12日	159,167	480円
55	Happie nuts	ハッピーナッツ	インフォレスト	17日		650円
56	Hana*chu	ハナチュー	主婦と友社	1日	124,108	450円
57	Haper'sBAZAAR	ハーバースバザー	エイビリー・ジャパン	28日		420円
58	ピチレモン	ピチレモン	学習研究社	1日	171,350	650円
59	美的	ビテキ	小学館	23日	130,000	420円
60	PS	ピーエス	小学館	1日	235,417	500円
61	bea's UP	ビーズアップ	ベルンシステム 24	12日	121,183	450円
62	PINKY	ピンキー	集英社	23日	210,833	490円
63	BLEND A	ブレンダ	角川春樹事務所	7日		580円
64	FUDGE	ファッジ	ニュース出版	12日		500円
65	FRaU	フラウ	講談社	12日	85,250	580円
66	Precious	プレシヤス	小学館	7日	113,333	500円
67	BOAO	ボアオ	マガジンハウス	7日	76,008	740円
68	Popteen	ポップティーン	角川春樹事務所	1日		630円
69	Mart	マート	光文社	28日	67,455	450円
70	MAQUA	マキア	集英社	23日	110,000	580円
71	marie claire	マリクレール	アセット婦人画報社	23日	40,992	580円
72	marisol	マリソル	集英社	7日		630円
73	ミセス	ミセス	文化出版局	7日	116,667	780円
74	MISS	ミス	世界文化社	28日	47,213	680円
75	mini	ミニ	宝島社	1日		680円
76	mina	ミーナ	主婦の友社	5,20日	239,481	520円
77	MORE	モア	集英社	28日	597,500	520円
78	ラブベリー	ラブベリー	徳間書店	1日	122,629	420円
79	Ranzuki	ランズキ	ぶんか社	23日		440円
80	LEE	リー	集英社	7日	311,667	540円
81	流行通信	リュウコウツウシン	INFAS パブリケーション	12日		700円
82	LUCi	ルーシィー	扶桑社	28日	155,633	600円
83	Ray	レイ	主婦の友社	23日	244,683	690円

日本雑誌協会

部数算定期間－2005年9月1日～2006年8月31日

印刷工業会の協力を得て2005年9月1日から2006年8月31日の

1年間に発売された雑誌1号あたりの「平均印刷部数」を1の位まで割り出して掲載。

* 調査雑誌

月刊誌、隔週誌、週刊誌に限る。季刊誌は含まない。

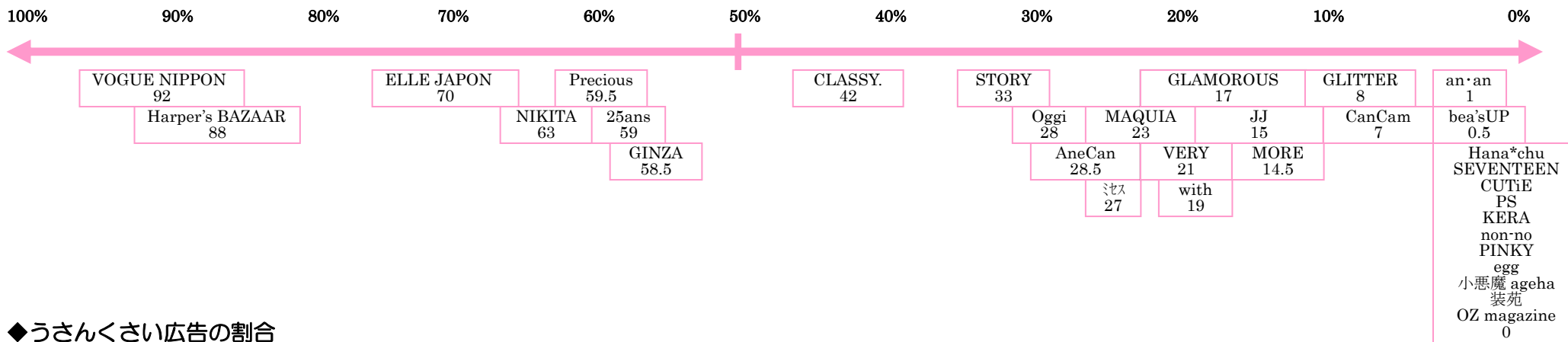
IV ファッション誌 広告分析

外資系 vs. うさんくさ

ここでは、今回私達が研究の対象とした雑誌のうち43冊に関して「広告」に注目して分析した結果を載せる（雑誌の下の数字はパーセント）。

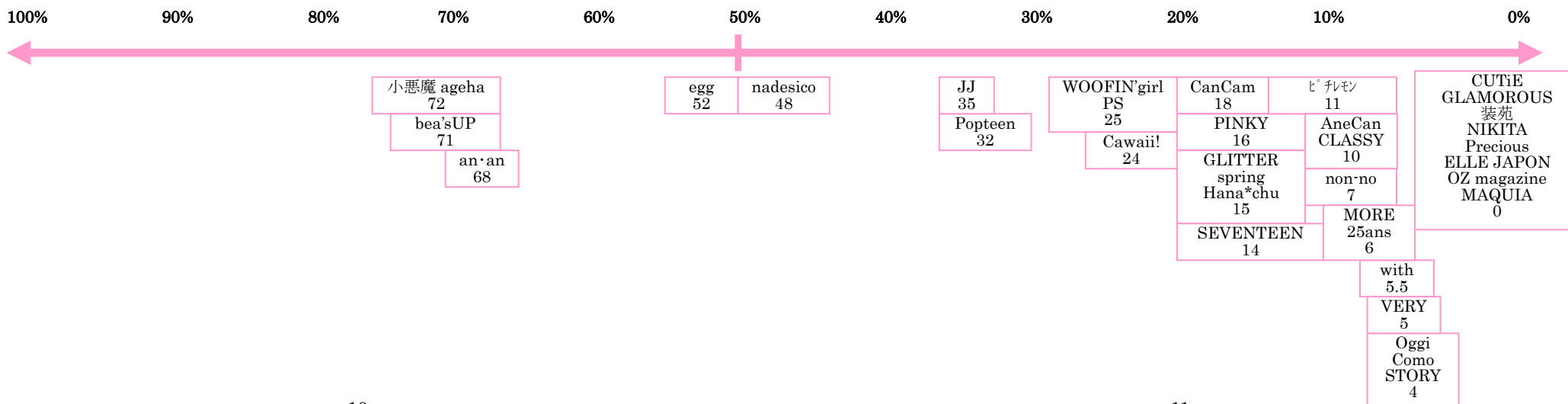
◆外資系ブランドの広告の割合

◆ 外資系ブランドとは、Dior、CHANEL、FENDI、LOUIS VUITTON などのことをいう。



◆うさんくさい広告の割合

◆ うさんくさい広告とは、「女性ホルモンで楽々ヤせる!」「飲むだけで速攻ヤせる!」など、信憑性のない広告のことをいう。



アラサー雑誌に“マヨ広告”！

◆出版社によって、広告の特徴はある！！

- ◆ 大手の出版社（小学館、集英社、講談社など）の雑誌には、うさんくさい広告はあまり入っていない。しかし、自社が出版した著書や雑誌の広告は多く入っている。

◆うさんくさい広告と外資系ブランドの広告には、一定の傾向がある！！

- ◆ うさんくさい広告が多いと外資系ブランドの広告は少なくなり、うさんくさい広告が少ないと外資系ブランドの広告は多くなる傾向がある（『CUTiE』、『装苑』、『OZ magazine』、『Chou Chou』にはうさんくさい広告も外資系ブランドの広告も全くないものもある）。

◆雑誌の系統によって、広告の違いはある！！

- ◆ ローティーン向けやティーンズ誌にしか、勉強についてのうさんくさい広告はない。
- ◆ ギャル系やお姫系の雑誌には、外資系ブランドの広告は全くないが、うさんくさい広告は多い。
- ◆ 古着系、ストリート・裏原宿系、ギャル系の雑誌は、専門学校などの広告が多い（読者の年齢に合わせている）。
- ◆ 海外雑誌の日本版や読者の年齢が高い雑誌には、外資系ブランドの広告が多い。
- ◆ カジュアル系やストリート系・裏原宿系のうさんくさい広告は、メスを入れずに薬で何とかする（薬でヤセたり、肌がきれいになったり…）というものばかりである。
- ◆ お姉系の雑誌（『CanCam』、『ViVi』など）よりも雑誌の読者層の年齢が高くなると（アラサー：30歳前後）、クレジットカードやマヨネーズの広告が入る。
- ◆ 一般OL（お姉）系の雑誌（『AneCan』、『LUCi』など）よりも雑誌の読者層の年齢が高くなると、車や旅行、コンタクトの広告が入る。
- ◆ 30代向けの雑誌（『NIKITA』、『VERY』など）よりも雑誌の読者層の年齢が高くなると、カラーゲンドリンクなどの広告が入る。

格付け 広告うさんくささ度

雑誌のうさんくさい広告を取り上げて、うさんくさ度を星の数で示してみた。



ダイエット薬

「飲むだけで即効誰でもヤせる！」

「成功率 99.1%」

うさんくさ度 ★★★★★

バストアップ

「今すぐ巨乳になれる！」

「一ヶ月でAカップがFカップ！」

「飲むだけで」「簡単・楽々」

うさんくさ度 ★★★★★



クリニック

「無敵の肉体改造」

「憧れの小顔も思いのまま」

うさんくさ度 ★★



ダイエット食品

「美ボディケア。」

「飲むビューティーサプリ」

うさんくさ度 ★★



エステ

「1回で-9.5cm チャンス」

「セルライトを撃退！」

うさんくさ度 ★★★

V 顔の競演 表紙分析

ここでは、今回私達が研究の対象とした雑誌、計 83 冊に関して「表紙」に注目して分析した結果を載せる。

◆ 表紙が同じ人物でも、雑誌によってファッション激変！！？？



- ◆ 綺麗めで可愛いファッションの多い『PINKY』、『Sweet』はピンクを使ったファッション。女子高生以上を対象とした「姉ギャル系」ファッション誌、『S cawaii!』は、クールで大人らしく、セクシースタイルをしている。
- ◆ この雑誌が発売される時期（2007年6月頃）、安室奈美恵はニューアルバム『PLAY』リリース（2007年6月27日発売）。CD売り上げのプロモーション活動と重ね、女性ファッションモデルリーダーとして3誌に登場か。

◆ 話題の女優が表紙を飾るケース



- ◆ 藤原紀香…2007年5月30日、陣内智則と結婚披露宴を行う。その模様はテレビ生中継され、全国で高視聴率を獲得するなど、当時の芸能ニュースでの話題の人物。そんな彼女はゴージャスなウエディング姿で『25ans』の表紙に登場。

◆ これが赤文字系雑誌だ！！！！



- ◆ 今回、4誌のうち『CanCam』のみ題字が赤字。しかし、4誌ともタイトル題字の書体は類似しているのが特徴（どれもタイトルに縁取りがある）。
※赤文字系とは？→表紙分析ページ最後（17ページ）に掲載。

◆ ローティーン雑誌は表紙から若さ全開！！



- ◆ ローティーン雑誌表紙は、文字の色使いや全体の配色がカラフル（丸文字や記号、ラメ使いなども多様）。
- ◆ 文字書体はゴシック体が中心で、全体的に特集等の文字の量も多く派手。
- ◆ 2人以上の複数モデルと一緒に写った表紙が多い。→これはギャル系雑誌にもよく見られる傾向（下表紙参照『Ranzuki(8月号)』『egg(7月号)』『happie nuts (8月号)』）。



- ◆ 集団（仲間）意識（中学生、ギャルという集団（仲間））が強いということを表しているのではないかと考える。

◆ 表紙にも貫禄が！！？？



- ◆ 読者年齢層が上がるにつれ、雑誌表紙にも落ち着きが見られる（表紙題字以外の文字書体が明朝体だったり、文字の色が統一されてありうるさくない）。
 (例) 『ミセス』『STORY』『LEE』『FRaU』など

◆ 女はヘア・メイクで変わる！！！！変えられる！！！！



- ◆ 表紙の2分の1を顔のアップ写真で占めている。
- ◆ 一つ一つのパーツをはっきりさせ、メイクはばっちり、ぬかりなし。
 (例) 『MAQUIA』『美的』『Bea's UP』『ar』『VoCE』

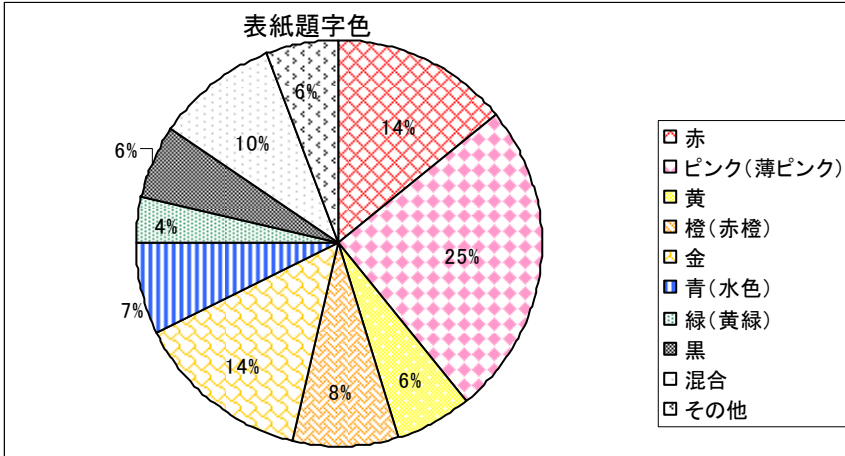
◆ 表紙専属モデルについて

- ◆ なかには、その雑誌専属の表紙モデルが存在する。代表的なものに、『AneCan』（押切もえ）がある。実例をあげると…

『AneCan』押切もえ、『CLASSY』相沢紗世、『BOAO』SHIHO、『Style』田波涼子、『LUCi』高垣麗子、『saita』柴田倫世→彼女たちは100%、絶対的な看板モデルとなる。

- ◆ ほかに、『CanCam』『JJ』『Oggi』は何人かの看板モデルがいるが、表紙を飾る人はその雑誌の中でも特に人気のある特定の看板モデルが務める。
- ◆ また、『non-no』『mina』『Ray』『ViVi』『PINKY』『Steady』『25ans』など、看板モデルと外部タレントの交互で表紙を飾るものもある。

◆ 表紙題字色にも女性ファッション誌ならではの特徴が！？



- ◆ 赤、ピンクの題字で約 40%を占める。
- ◆ 赤、橙、黄などの暖色系で約 70%を占める。
→女性的イメージの先行、もしくは販売時期が夏で暑いイメージだったからではないかと考える。

参考ウェブサイト

「M.D.F Beauty Blog ファッション誌、年齢」

<http://valens11.blog68.fc2.com/blog-entry-324.html> (2007年10月19日アクセス)

「FASHION MAGAZINE」<http://www.nightscape.info/fhl/> (2007年10月19日アクセス)

(注)

赤文字系…大学生・若年OL向けのコンサバファッションやお姉系に分類される『セレブ系カジュアルスタイル』と呼ばれているファッションを主に扱うファッション雑誌。雑誌名としては『CanCam』『JJ』『ViVi』『Ray』など4誌が挙げられ、表紙のタイトル文字が赤色でプリントされていたことから名付けられた言葉とされる。

参照「赤文字系 wikipedia」<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%B5%A4%E6%96%87%E5%AD%97%E7%B3%BB>



青木香里

ゼミ紹介

私たち井上ゼミの専門分野は「マスメディア」
 テレビ、新聞、雑誌、インターネット…
 この世に存在するあらゆるメディアが、私たちの研究対象です。
 ゼミ生の目標は、“何か形あるものを発信していくこと”
 今年は女性ファッション誌の研究を発信します。
 誰よりも、世の中に敏感に生きる!!
 常にアンテナを張り巡らせる!!
 そんな心意気を持った学生が集まったゼミ。
 それこそが井上ゼミなのです。
 広島市立大学 国際学部 井上ゼミ inoue.seminar@gmail.com



井上先生



梶山愛理

山廣由貴



吉岡朋美

研究は今後どうなる…?

研究開始の時に死んでいたのは83冊だったファッション誌…
 その数は今なお増え続けています。
 そんなに多く世の中に存在するのは、なぜでしょうか？
 女性のライフスタイルにどんな影響を及ぼしているのでしょうか？
 いつ、なぜ、別のファッション誌に「乗り換える」のでしょうか？
 私たちが見つけ出したい答えは、ずっと先にあるのです。
 この研究はまだまだ終わりません!!
 ご意見や感想、お待ちしております! inoue.seminar@gmail.com

